

県内経済の基調判断

2024年12月速報

最近の県内景況をみると、総じて足踏みしている。

概 況

生産は振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。需要面の動きをみると、公共投資は弱めの動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっているが、このところ一部で上振れがみられる。個人消費は総じて弱含んでいる。雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。

(参考) 県内景況判断の推移

	2024年10月	11月	12月
総括判断	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)	総じて足踏みしている (下方修正)
生産	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる
公共投資	下げ止まりの動きとなっている	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
住宅投資	弱めの動きとなっているが、このところ一部で上振れがみられる	弱めの動きとなっているが、このところ一部で上振れがみられる	弱めの動きとなっているが、このところ一部で上振れがみられる
個人消費	持ち直しの動きが鈍化し、足元弱含んでいる	持ち直しの動きが鈍化し、足元弱含んでいる	総じて弱含んでいる
雇用情勢	持ち直しの動きに足踏みが見られる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きが足踏みしている	持ち直しの動きが足踏みしている

	2024年1～3月	4～6月	7～9月
企業景況の感	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる	総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

77B I

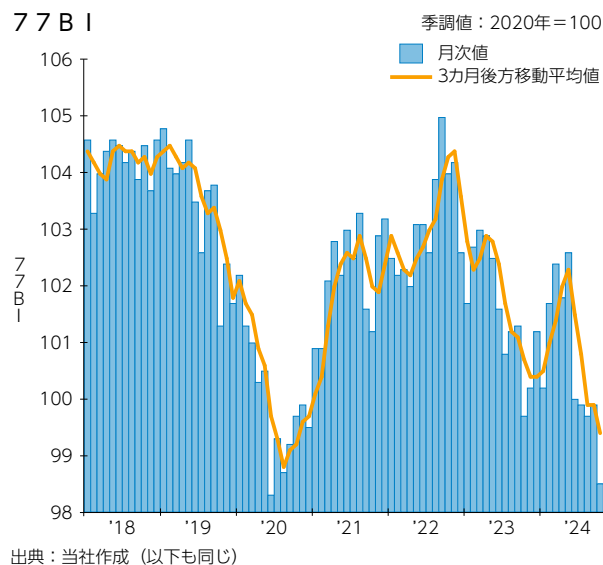
77B I (暫定値)は、弱めの動きとなっている。

10月の**77B I (暫定値)**は、前月比1.4ポイント低下の98.5となった。

採用指標別にみると、有効求人倍率は前月比横ばいとなり、宮城県消費動向指数、建築物着工床面積は前月比低下した。また、9月の鉱工業生産指数は前月比低下した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比0.5ポイント低下の99.4となった。

77B I



77B I

(季節調整値、2020年=100)

	2024年8月	9月	10月
B I 値	99.7	99.9	98.5
鉱工業生産指数	100.5	94.8	94.8
宮城県消費動向指数	96.3	103.1	97.0
建築物着工床面積	91.9	227.1	53.9
有効求人倍率	97.1	97.1	97.1

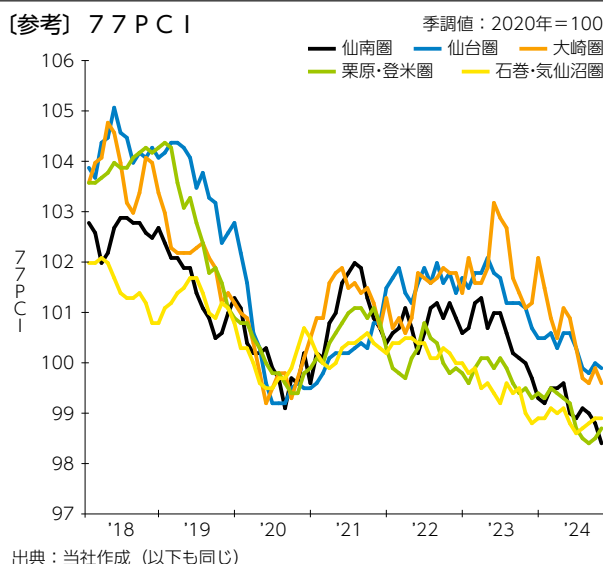
【参考】77P C I

(季節調整値、2020年=100、前月比：%ポイント)

	2024年8月	9月	10月
仙南圏	▲ 0.01	▲ 0.3	▲ 0.3
仙台圏	▲ 0.03	0.1	▲ 0.01
大崎圏	▲ 0.1	0.3	▲ 0.3
栗原・登米圏	▲ 0.1	0.1	0.2
石巻・気仙沼圏	0.1	0.1	0.003

※77B Iは、前月より基準年を変更（2020年=100）し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

【参考】77P C I



生産動向

鉱工業生産指数は、振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。

9月の**鉱工業生産指数**は、前月比5.7%低下の94.8となった。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械工業が前月比マイナスとなったことなどから、4カ月連続して前月を下回っている。

一方、前年と比較すると、食料品工業が前年を下回ったことなどから、全体では前年比13.3%の低下となり、3カ月ぶりに前年を下回った。

鉱工業生産指数



鉱工業生産指数

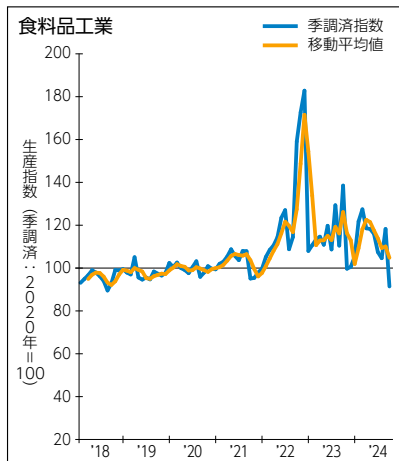
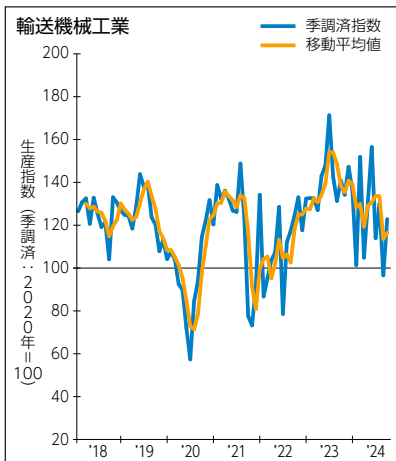
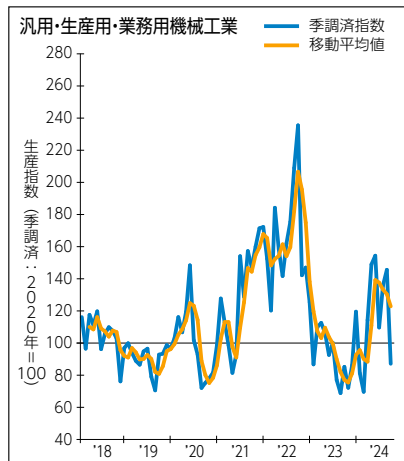
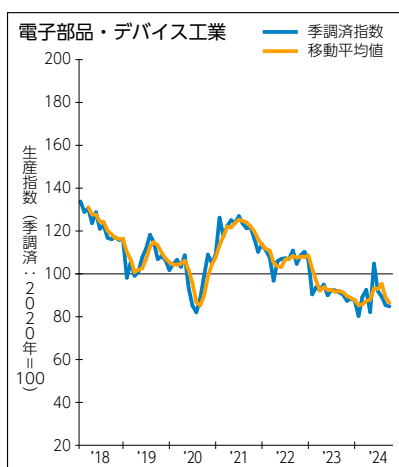
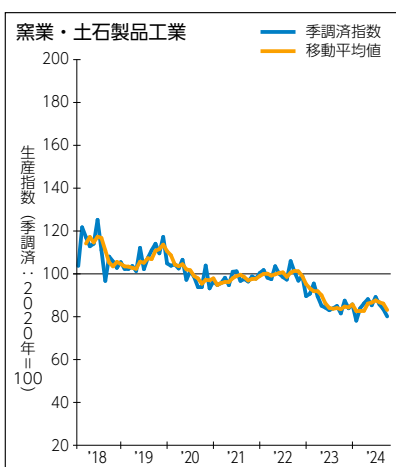
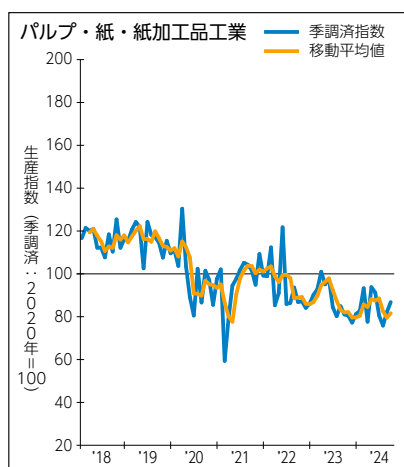
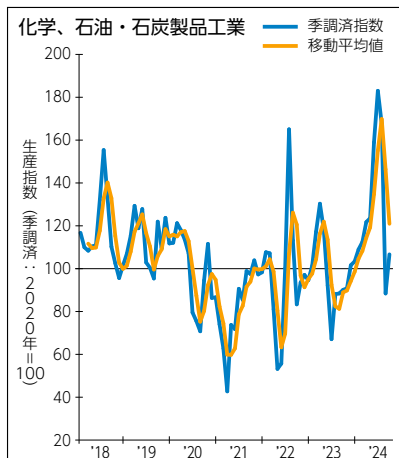
(2020年=100、季節調整済、前年比：%)

	2024年7月	8月	9月
宮城県	105.4	100.5	94.8
(前年比)	3.4	0.7	▲ 13.3
東北	107.5	101.4	101.2
(前年比)	7.3	▲ 1.7	▲ 1.7
全国	103.1	99.7	101.3
(前年比)	2.9	▲ 4.9	▲ 2.6

主要業種別生産動向(宮城県)

(2020年=100、季節調整済、前年比：%)

業 種	2024年7月	8月	9月
化学、石油・石炭製品工業	167.8	88.4	106.7
(前年比)	90.7	0.0	23.5
パルプ・紙・紙加工品工業	75.8	82.1	86.8
(前年比)	▲ 8.7	▲ 1.6	7.2
窯業・土石製品工業	85.7	83.5	80.1
(前年比)	8.4	▲ 4.6	▲ 6.9
電子部品・デバイス工業	89.3	85.4	84.8
(前年比)	0.9	▲ 8.5	▲ 6.1
汎用・生産用・業務用機械工業	135.9	145.6	87.0
(前年比)	84.2	2.1倍	▲ 10.9
輸送機械工業	130.1	96.6	122.9
(前年比)	▲ 4.2	▲ 28.3	▲ 10.5
食料品工業	104.6	118.3	91.4
(前年比)	▲ 19.6	7.4	▲ 35.0



建設動向

公共工事請負金額は弱めの動きとなっている。住宅着工は弱めの動きとなっているが、このところ一部で上振れがみられる。建築物着工は水準が低下している。

公共工事

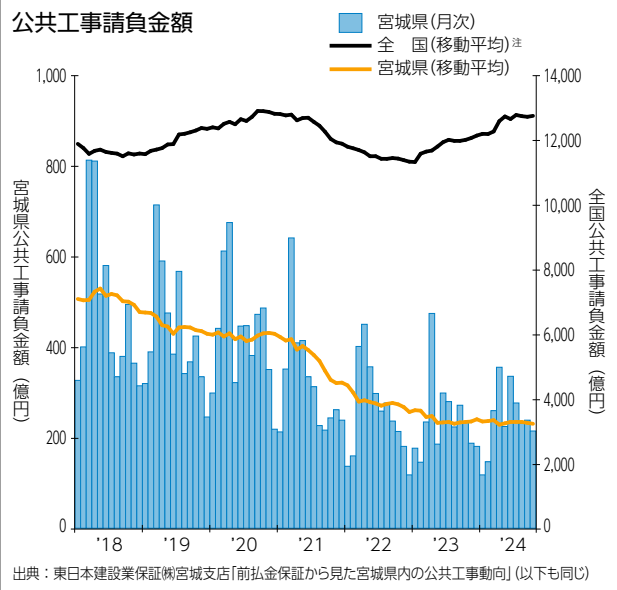
10月の公共工事請負金額は、前年同月比8.2%減の215億円となり、前月に引続き前年を下回っている。

発注者別にみると、国の機関では、同32.7%減の21億円と前年を下回った。

一方、地方の機関は、県が同33.5%減の59億円、市町村等は同18.3%増の134億円となり、全体で同4.5%減の194億円と前年を下回った。

また、震災前の2010年10月の請負金額（207億円）と比べた水準は3.6%増となっている。

公共工事請負金額



注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別)

(前年比、%)

	2024年8月	9月	10月
宮城県	3.5	▲ 12.2	▲ 8.2
国の機関	▲ 19.8	▲ 19.1	▲ 32.7
県	▲ 15.8	▲ 38.3	▲ 33.5
市町村等	21.9	19.3	18.3
全国	▲ 3.9	▲ 1.9	3.2

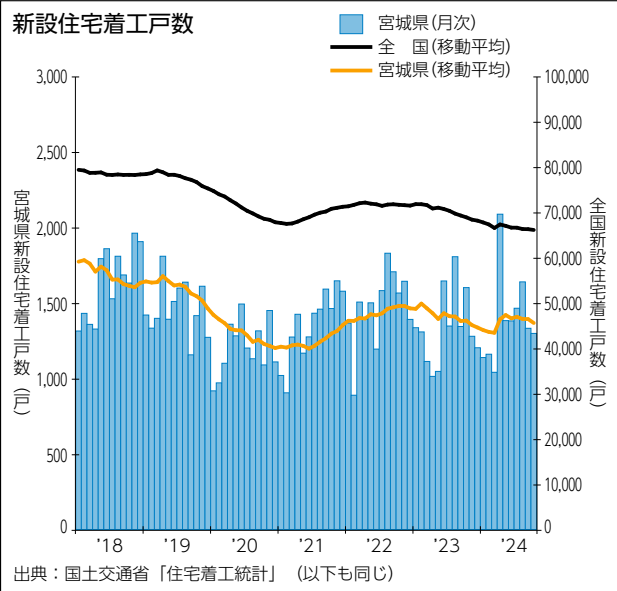
住宅建設

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比18.9%減の1,301戸（全国2.9%減、69,669戸）となり、3カ月連続して前年を下回っている。

利用関係別にみると、持家が同3.8%増（299戸）と前年を上回ったが、貸家が同11.9%減（788戸）、分譲が同49.8%減（212戸）と前年を下回った。

また、震災前の2010年10月の着工戸数（1,113戸）と比べた水準は16.9%増となって

新設住宅着工戸数



新設住宅着工戸数(利用関係別)

(前年比、%)

	2024年8月	9月	10月
宮城県	▲ 9.2	▲ 0.9	▲ 18.9
持家	▲ 13.5	▲ 5.8	3.8
貸家	▲ 12.3	▲ 5.4	▲ 11.9
分譲	2.1	13.6	▲ 49.8
全国	▲ 5.1	▲ 0.6	▲ 2.9

新設住宅着工戸数(市部・郡部別)

(前年比、%)

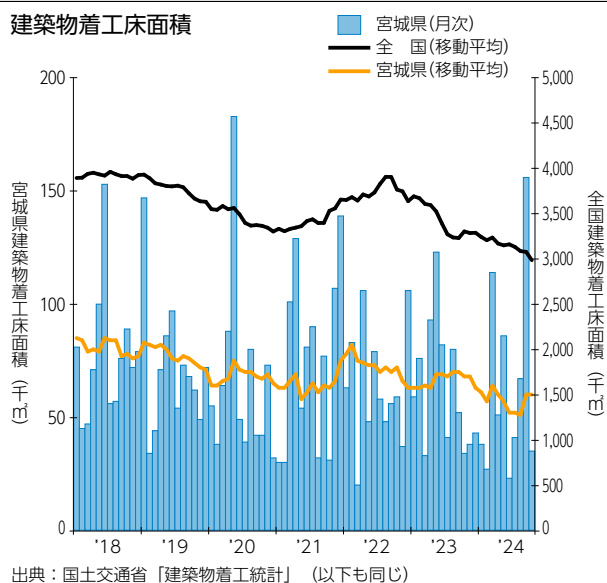
	2024年8月	9月	10月
市部	▲ 12.5	▲ 0.1	▲ 18.1
うち仙台市	▲ 2.1	▲ 8.3	▲ 23.9
うち仙台市以外	▲ 37.1	21.0	▲ 0.6
郡部	23.2	▲ 4.8	▲ 24.5

建築物着工

10月の建築物着工（民間非居住用）は、床面積が前年同月比2.2%増の35千㎡、工事費予定額は同13.5%減の79億円となり、床面積は前月に引き続き前年を上回っており、工事費予定額は3カ月連続して前年を下回っている。

使途別に床面積をみると、店舗（11千㎡：前年同月比45.3%増）などが前年を上回った。

建築物着工床面積



建築物着工床面積（使途別）

（前年比、%）

	2024年8月	9月	10月
宮城県	▲ 17.1	3.0倍	2.2
事務所	10.0	▲ 35.4	▲ 2.9
店舗	▲ 18.1	14.8	45.3
工場	7.6倍	▲ 40.4	▲ 51.6
倉庫	▲ 85.3	53.0倍	▲ 46.3
その他	14.1	25.8	39.6
全国	▲ 17.3	▲ 3.1	▲ 26.8

建築物着工工事費予定額（使途別）

（前年比、%）

	2024年8月	9月	10月
宮城県	▲ 2.4	▲ 75.5	▲ 13.5
事務所	15.2	▲ 94.0	▲ 35.0
店舗	▲ 40.2	▲ 95.0	▲ 5.4
工場	7.0倍	▲ 92.6	▲ 36.0
倉庫	▲ 74.0	7.6倍	▲ 42.8
その他	10.0	▲ 82.8	22.2
全国	35.1	▲ 13.2	▲ 9.2

消費動向

宮城県消費動向指数、小売業主要業態販売はいずれもこのところ弱含んでいる。乗用車新車販売は基調としては持ち直しに向けた動きとなっている。

消費動向指数

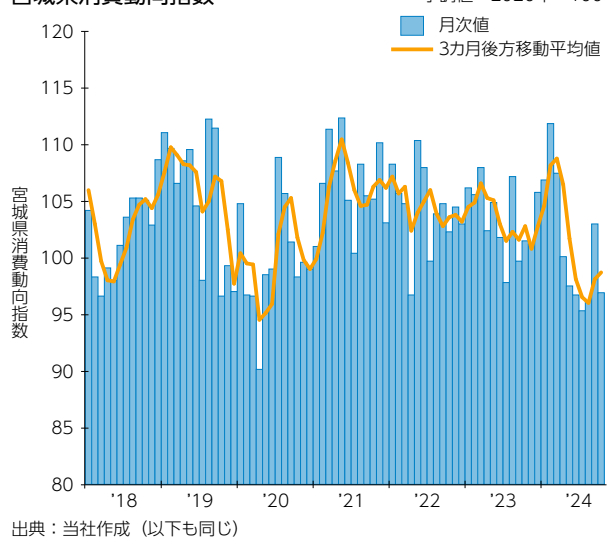
10月の宮城県消費動向指数は、前月比6.1ポイント低下の97.0となり、3カ月ぶりに低下した。

消費費目別にみると、「被服・履物」「教養娯楽」などが低下した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比0.6ポイント上昇の98.8となった。

宮城県消費動向指数

季節調整：2020年＝100



※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をより的確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

※消費動向指数は、前月より基準年を変更（2020年＝100）し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

宮城県消費動向指数

（季節調整値、2020年＝100）

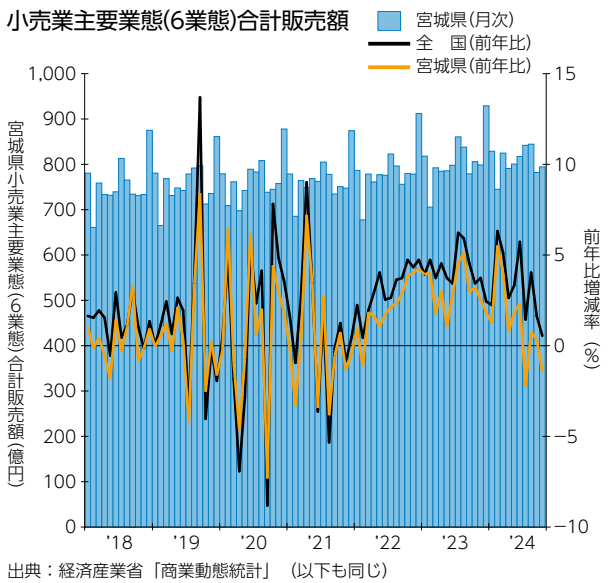
	2024年8月	9月	10月
消費動向指数	96.3	103.1	97.0
家賃指数	107.3	107.6	109.1
乗用車販売指数	101.1	103.1	108.9
コア消費支出指数	101.9	107.5	102.6

小売業主要業態販売

10月の小売業主要業態（6業態）の合計販売額（全店ベース）は、前年同月比1.4%減の798億円（全国0.6%増、4兆2,360億円）となり、3カ月ぶりに前年を下回った。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同2.5%減の336億円（全国0.6%減）となり、3カ月ぶりに前年を下回った。コンビニエンスストアは同0.6%減の207億円（全国2.0%増）となり、8カ月連続して前年を下回っている。家電大型専門店は同8.6%減の50億円（全国2.4%減）となり、4カ月連続して前年を下回っている。ドラッグストアは同4.4%増の150億円（全国4.3%増）となり、43カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同5.5%減の55億円（全国3.3%減）となり、3カ月ぶりに前年を下回った。

小売業主要業態(6業態)合計販売額



小売業主要業態販売額

(前年比、%)

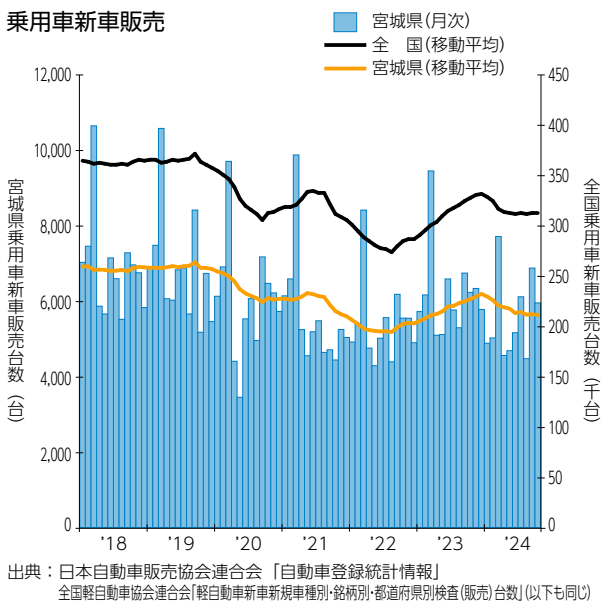
	2024年8月	9月	10月
6業態合計(宮城県)	0.8	0.4	▲ 1.4
百貨店・スーパー	1.6	0.4	▲ 2.5
コンビニエンスストア	▲ 3.2	▲ 2.4	▲ 0.6
家電大型専門店	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 8.6
ドラッグストア	5.4	4.9	4.4
ホームセンター	1.8	0.5	▲ 5.5
6業態合計(全国)	4.1	1.7	0.6

注) 全店ベース

乗用車新車販売

10月の乗用車新車販売台数は、前年同月比4.5%減（全国1.0%増）の5,960台となり、2カ月ぶりに前年を下回った。車種別にみると、普通車は、同0.9%増（全国8.6%増）の2,488台となり、3カ月ぶりに前年を上回った。小型車は、同10.4%減（全国6.7%増）の1,495台となり、10カ月連続して前年を下回っている。また、軽乗用車は、同6.1%減（全国11.4%減）の1,977台となり、2カ月ぶりに前年を下回った。

乗用車新車販売



乗用車新車販売台数

(前年比、%)

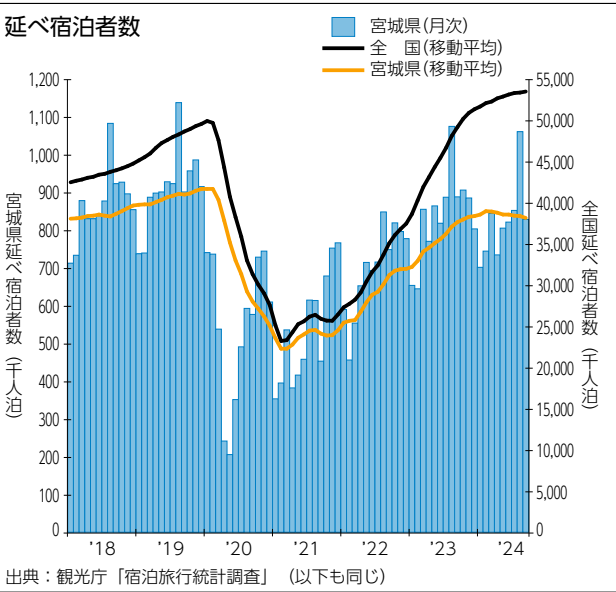
	2024年8月	9月	10月
宮城県	▲ 15.5	2.0	▲ 4.5
普通車	▲ 10.8	▲ 2.0	0.9
小型車	▲ 22.7	▲ 2.1	▲ 10.4
軽乗用車	▲ 15.2	10.1	▲ 6.1
全国	▲ 3.2	0.8	1.0

観光動向

9月の延べ宿泊者数は、前年同月比6.8%減の830千人泊となり、3カ月連続して前年を下回っている。

居住地別にみると、県内宿泊客は同20.1%減の177千人泊と前月に引続き前年を下回っており、県外宿泊客は同7.0%減の572千人泊と3カ月連続して前年を下回っている。

また、外国人の延べ宿泊者数は、同31.8%増の54千人泊となり、26カ月連続して前年を上回っている。



延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)			
	2024年7月	8月	9月
宮城県	854	1,063	830
うち県内客	227	236	177
うち県外客	522	709	572
うち外国人	60	68	54
全国	56,662	64,977	53,706
うち外国人	14,699	13,235	12,376

延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)			
	2024年7月	8月	9月
宮城県	▲ 3.9	▲ 1.4	▲ 6.8
うち県内客	2.0	▲ 3.2	▲ 20.1
うち県外客	▲ 12.0	▲ 5.2	▲ 7.0
うち外国人	35.4	37.5	31.8
全国	4.1	1.0	2.9
うち外国人	33.0	24.9	22.7

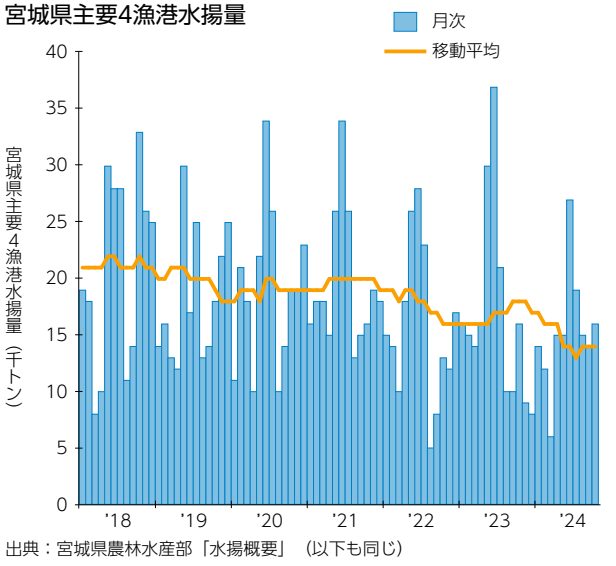
水産動向

10月の主要4漁港（塩釜、石巻、気仙沼、女川）における水揚げは、数量が前年同月比0.1%減の16千トン、金額が同11.9%増の70億円となり、数量は3カ月ぶりに前年を下回り、金額は3カ月連続して前年を上回っている。

魚種別にみると、数量はサバなどが減少し、金額はサンマなどが増加した。

漁港別にみると、数量は塩釜、石巻、女川が前年を上回ったが、気仙沼が前年を下回った。

金額は気仙沼が前年を下回ったが、塩釜、石巻、女川が前年を上回った。



主要漁港水揚量 (前年比、%)			
	2024年8月	9月	10月
合計	53.4	43.4	▲ 0.1
塩釜	4.2倍	▲ 29.9	21.4
石巻	5.3	19.9	2.2
気仙沼	74.9	83.3	▲ 11.2
女川	▲ 64.7	5.1	32.5

主要漁港水揚金額 (前年比、%)			
	2024年8月	9月	10月
合計	15.7	6.7	11.9
塩釜	32.8	▲ 36.4	28.0
石巻	▲ 3.8	14.1	11.2
気仙沼	24.2	22.6	▲ 4.3
女川	▲ 48.8	9.9	73.3

貿易動向

10月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）は、輸出が前年同月比0.6%減の332億円、輸入が同7.0%減の873億円となった。

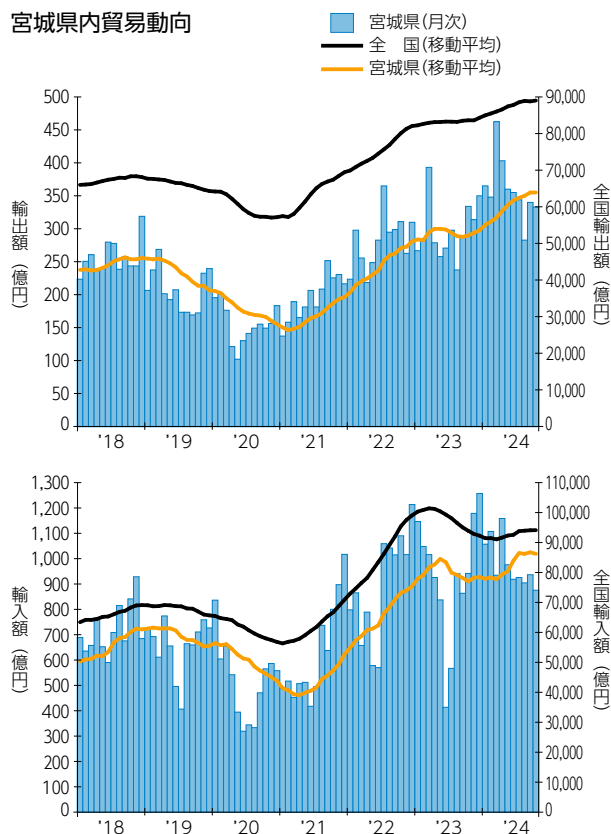
輸出はゴム製品が減少したことなどから13カ月ぶりに前年を下回った。一方、輸入は石油製品が減少したことなどから2カ月ぶりに前年を下回った。

輸出額・輸入額

(前年比、%)

		2024年8月	9月	10月
宮城県	輸出	18.7	17.8	▲ 0.6
	輸入	▲ 3.8	8.6	▲ 7.0
全 国	輸出	5.5	▲ 1.7	3.1
	輸入	2.2	1.8	0.4

宮城県内貿易動向



出典：横浜税関「横浜税関管内貿易速報」（以下も同じ）

物価動向

10月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比2.2%上昇の111.0となり40カ月連続して前年を上回っている。

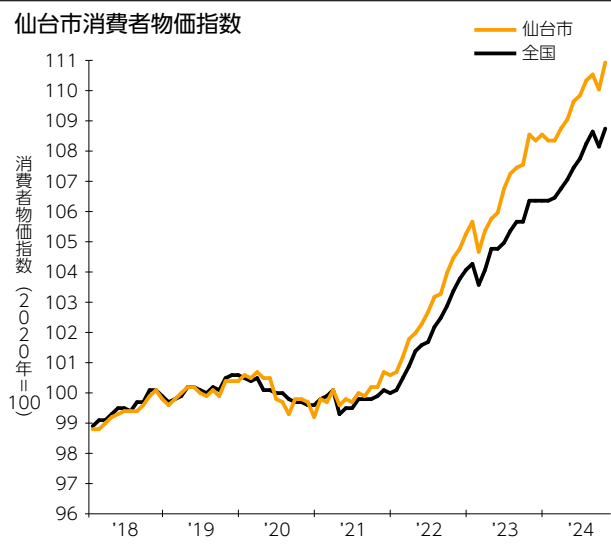
費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」「住居」などが上昇した。

消費者物価指数（費目別）

(前年比、%)

	2024年8月	9月	10月
生鮮食品を除く食料	3.2	3.5	3.8
住居	0.4	0.5	1.7
光熱・水道	12.3	6.0	0.6
家具・家事用品	4.1	3.8	4.4
被服および履物	1.5	1.8	1.1
保健医療	2.1	1.6	1.3
交通・通信	▲ 0.1	▲ 0.5	0.0
教育	3.4	3.4	3.4
教養娯楽	4.2	3.2	3.0
諸雑費	1.4	1.7	2.1

仙台市消費者物価指数



注）生鮮食品除く総合

出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」（以下も同じ）

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

(前年比、%)

	2024年8月	9月	10月
仙台市	2.9	2.3	2.2
全国	2.8	2.4	2.3

雇用動向

雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。

10月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求職者数、有効求人数ともに減少したことなどから、前月比横ばいの1.22倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べて卸売業・小売業などが減少した。

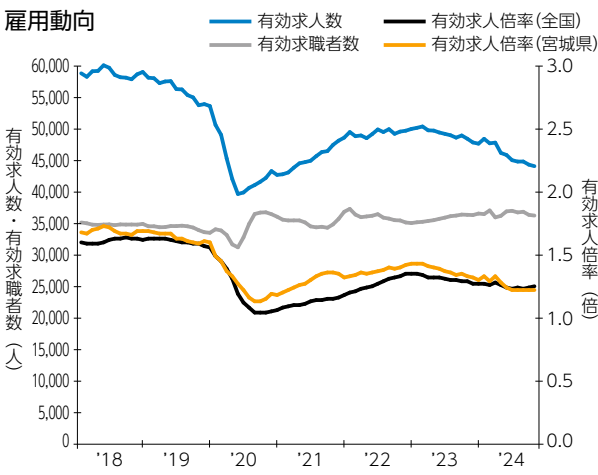
有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、仙台（1.43倍）、大和（1.42倍）などが1倍を上回っている一方、大河原（0.61倍）、塩釜（0.71倍）などは1倍を下回っている。

有効求人倍率等 (倍、%)

	2024年8月	9月	10月
有効求人倍率(宮城県)	1.22	1.22	1.22
(全 国)	1.23	1.24	1.25
新規求人数(前年比)(宮城県)	▲ 9.6	▲ 12.8	▲ 3.4

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

雇用動向



出典：宮城労働局「宮城県の一般職業紹介状況」（以下も同じ）

職業安定所別有効求人倍率 (原数値、倍)

	2024年8月	9月	10月
気仙沼	1.16	1.24	1.19
石巻	1.27	1.30	1.28
塩釜	0.74	0.73	0.71
仙台	1.37	1.38	1.43
大和	1.42	1.43	1.42
古川	0.91	1.00	1.02
築館	1.31	1.31	1.34
迫	0.82	0.87	0.88
大河原	0.66	0.68	0.61
白石	1.27	1.23	1.24

倒産動向

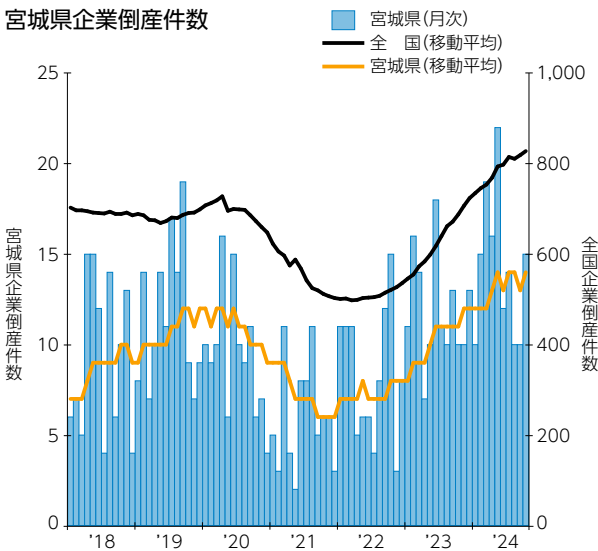
10月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比50.0%増の15件、負債額では同25.7%増の14億円となった。

倒産企業を業種別にみると、サービス業他が6件、小売業が4件などとなっている。

主因別では、販売不振が13件、放漫経営、既往のシワ寄せが各1件となっている。

地域別では、仙台市が8件、石巻市、大崎市が各2件などとなっている。

宮城県企業倒産件数



出典：(株)東京商工リサーチ「倒産月報(宮城県企業倒産状況)」(以下も同じ)

企業倒産件数・負債額 (件、百万円)

		2024年8月	9月	10月
宮城県	件 数	10	10	15
	負債額	2,399	706	1,370
全 国	件 数	723	807	909
	負債額	101,370	132,754	252,913

企業倒産件数・負債額 (前年比、%)

		2024年8月	9月	10月
宮城県	件 数	0.0	▲ 23.1	50.0
	負債額	2.1倍	▲ 76.9	25.7
全 国	件 数	▲ 4.9	12.1	14.6
	負債額	▲ 6.5	▲ 80.8	▲ 17.9

人口動向

11月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比16,756人減の224万6,257人となり、43カ月連続して前年を下回っている。

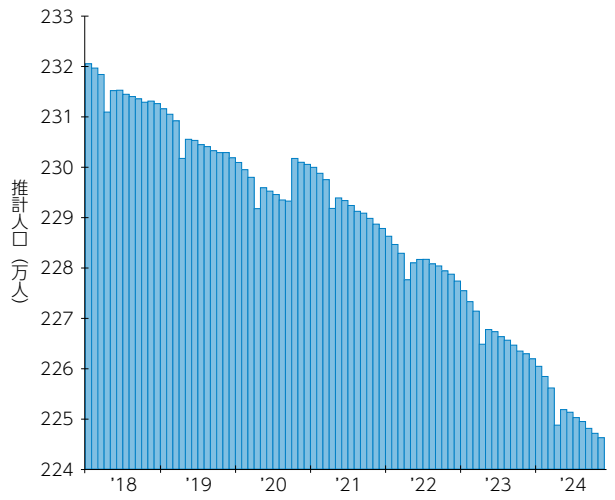
人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万7,251人減、社会増減は495人増となった。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、名取市（103人増）、富谷市（65人増）の2市、減少したのは石巻市（2,288人減）、仙台市（2,051人減）など33市町村となっている。

また、震災前の2011年3月1日現在の人口（234万6,853人）と比べると、県全体では10万596人減となっている。

市町村別にみると、仙台市（4万9,342人増）、名取市（5,406人増）など6市町村では増加したが、石巻市（2万8,690人減）、気仙沼市（1万7,096人減）など29市町では減少している。

宮城県人口動向



出典：宮城県企画部「宮城県推計人口」（以下も同じ）

宮城県人口

(人)

	2024年9月	10月	11月
総人口	2,248,127	2,247,139	2,246,257
自然増減	▲ 1,324	▲ 1,214	▲ 1,519
社会増減	▲ 39	226	637

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向（推計人口）

(人)

	2011年3月 ①	2023年11月 ②	2024年11月 ③	前年比 ③－②	震災前比 ③－①		2011年3月 ①	2023年11月 ②	2024年11月 ③	前年比 ③－②	震災前比 ③－①
宮城県	2,346,853	2,263,013	2,246,257	▲ 16,756	▲ 100,596	村田町	11,939	10,097	9,884	▲ 213	▲ 2,055
仙台市	1,046,737	1,098,130	1,096,079	▲ 2,051	49,342	柴田町	39,243	37,516	36,999	▲ 517	▲ 2,244
石巻市	160,394	133,992	131,704	▲ 2,288	▲ 28,690	川崎町	9,919	7,888	7,708	▲ 180	▲ 2,211
塩釜市	56,221	50,714	50,392	▲ 322	▲ 5,829	丸森町	15,362	11,197	10,861	▲ 336	▲ 4,501
気仙沼市	73,154	57,341	56,058	▲ 1,283	▲ 17,096	亘理町	34,795	32,719	32,524	▲ 195	▲ 2,271
白石市	37,273	30,923	30,219	▲ 704	▲ 7,054	山元町	16,608	11,566	11,405	▲ 161	▲ 5,203
名取市	73,603	78,906	79,009	103	5,406	松島町	15,014	12,708	12,510	▲ 198	▲ 2,504
角田市	31,188	26,631	26,209	▲ 422	▲ 4,979	七ヶ浜町	20,353	17,429	17,220	▲ 209	▲ 3,133
多賀城市	62,990	62,594	62,270	▲ 324	▲ 720	利府町	34,279	35,044	34,982	▲ 62	703
岩沼市	44,160	43,547	43,330	▲ 217	▲ 830	大和町	25,366	28,512	28,394	▲ 118	3,028
登米市	83,691	72,030	70,621	▲ 1,409	▲ 13,070	大郷町	8,871	7,463	7,378	▲ 85	▲ 1,493
栗原市	74,474	60,590	59,208	▲ 1,382	▲ 15,266	大衡村	5,361	5,529	5,489	▲ 40	128
東松島市	42,840	37,961	37,465	▲ 496	▲ 5,375	色麻町	7,406	6,297	6,136	▲ 161	▲ 1,270
大崎市	134,950	122,863	121,162	▲ 1,701	▲ 13,788	加美町	25,421	20,778	20,322	▲ 456	▲ 5,099
富谷市	47,501	51,501	51,566	65	4,065	涌谷町	17,399	14,422	14,057	▲ 365	▲ 3,342
蔵王町	12,847	10,806	10,649	▲ 157	▲ 2,198	美里町	25,055	22,998	22,676	▲ 322	▲ 2,379
七ヶ宿町	1,664	1,162	1,160	▲ 2	▲ 504	女川町	9,932	6,093	6,018	▲ 75	▲ 3,914
大河原町	23,465	23,526	23,311	▲ 215	▲ 154	南三陸町	17,378	11,540	11,282	▲ 258	▲ 6,096

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）

自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数